

避難所訓練

事業実績

開催日	令和6年3月24日(日)	実施団体	新宿 NPO 協働推進センター 避難所運営管理協議会
会場	新宿 NPO 協働推進センター	参加者	234 名

事業の内容

能登半島地震をはじめ、大型台風などの災害が日本各地で発生しており、東京もいつ大災害が発生するか分からない状況となっています。このような状況の中、改めて住民同士が声をかけあって安否の確認を行う訓練が必要と感じました。無事な方には玄関前に白タオルを掲げてもらい、町会で安否確認を行い、その後、戸塚地域本部に無線で各町会の安否の状況等を報告しました。

また、新規備蓄物資のエアマットをはじめとした防災備蓄物資の見学及びエアマットを膨らませる体験を行いました。

当日の様子

声掛け等により、玄関前には自身の無事を伝える多数の白タオルが掲げられていました。また、掲げられていない世帯に対しては、声掛けによる安否確認を行いました。地域本部とも無線で通信を行うことにより、より実践的な訓練となりました。

また、新規防災備蓄物資の見学を行うとともに、実際にエアマットを膨らませる体験を行いました。

工夫した点

声掛けによる訓練を行い、町会員には普段から顔の見える関係による大切さを感じてもらうきっかけづくりとしました。



声掛け等により、当日は、自身の安全を知らせる白タオルが各町会内では多数掲げられた。

新規備蓄物資のエアマットを実際に膨らませ、体験を行った。